



JCNA 2009年度テーマ

人に仕える医療と看護

～仕えられるためではなく、仕えるために～

人に仕える医療と看護

～仕えられるためではなく、仕えるために～

本部顧問司祭 川上 誠

このたび、日本カトリック医療施設協会・日本カトリック医師会・日本カトリック看護協会による「日本カトリック医療団体協議会」が日本カトリック司教協議会の公認団体として正式に発足いたしました。その目的については協議会の規約に次のように述べられています。

「本会は上記 3 団体の自主性を尊重しつつ、3 団体間の連携を強化し、相互扶助を図るとともに、カトリック精神に則った医療・福祉の向上に努め、もって日本におけるキリストの福音の普及を目指すことを目的とする。」(第3条)

今年の秋、三者による最初の全国大会が長崎で開催されることになりました。大会テーマは「人に仕える医療」となっています。これを受けて JCNA の本年度のテーマも「人に仕える医療と看護～仕えられるためではなく、仕えるために～」とし、そのような精神で進むことになりました。

医療をとりまく状況の厳しさは、当事者の方々がその課題の重さを一番分かっておられるわけですが、あらためて、医療・看護は誰のためのものか、という原点に立ち戻る必要があるということでしょう。

患者を癒し、そのいのちをどのように支え続けることができるのか、という課題は医療・看護者一人一人の使命であると同時に、それを機能させていくために、医療機関、医療体制全体が最大限の努力を払い続けなければならないということです。そしてそれをいつも正しく方向づけ、推進してゆくのはやはり、人が人のいのちに対して持つ思いであり、それを真実に把握できる精神の清澄さです。

看護者の心をその福音的心で照らし、語り続けられたシスター寺本のことばは、私たちに看護の本当の心と精神をあらためて呼び醒ましてくれる真実が生きているのではないのでしょうか。

「人間関係は、上手、下手ではなく、その人にかかわろうという姿勢による。相手に心を尽くして看るとき、必ずよい方法がうまれる。」

「科学のなかだけで自分の看護を生かそうとすると、看護が枯れていく。現在の私たちが陥りがちな危険性は、割り切ってものごとを考えてしまうことである。そんなとき、心の温かさや深さは影をひそめ、冷たい理屈だけでものを言うようになる。知識と行動と心との合体された看護でなければならない。」(寺本松野ことば集『きょう一日を』52,58頁)

シスターのこの心の在り方はどこから来たのでしょうか。言うまでもなく、シスターの静かに真剣に祈りに向かう霊的生活、イエスとの深い結びつき、即ちキリストの恵みの泉から汲んでいたのです。

私たちも、日常の多忙な職務の中にあって、祈りや黙想、霊的読書、音楽や芸術鑑賞、食事やお茶、自然や仲間たちとの語り、信仰生活の分かち合いを通して、イエスに仕え、病人に仕える心豊かな看護者に成長していきたいものです。日本のカトリック教会の中でより絆を深めつつ、JCNA の皆さんが特に看護・医療関係の仲間たちの間にその精神をよりいっそう広めていくことができますよう、新たな期待を込めて共に歩みたいと思います。

「日本カトリック医療団体協議会」設立の過程

第1回会合 2007年5月26日 南山学園研修センター(名古屋)

この会合を持つに至った経緯

- ・医療協大会で古川会長より提案があり、三者の話し合いの実現のため2006年12月にJCNA本役員会に医師会側が招かれ、その後この三者が会合を持った。
- ・現代は医療受難時代。それぞれの立場で使命がある。互いが知り合ったうえで、カトリックの医療をどのように守るか、在り方を明確にする。

第2回会合 2007年7月21日 姫路聖マリア病院(姫路)

- ・集まりやすい場所(東京・名古屋・大阪近郊)で集まることを申し合わせた。
- ・集まるメンバーについて。会長ともう一人位。一団体二名以上が望ましい。

第3回会合 2007年12月9日 ニコラ・バレ・ハウス(東京・四谷)

以下のことが合意された。

- ・何年かに1度、合同の大きな大会を持つ。
- ・社会へ向かっての発言をする。
- ・将来的に合同の企画を持つことを想定して、平成20年度の第44回医療施設協全国大会で三者によるシンポジウムを企画。テーマは「課題と展望」

第4回会合 2008年7月19日 KKR HOTEL TOKYO(東京)

第1回～第3回連絡会で合意された決定事項が改めて確認された。

1. カトリック系の医療関連4団体の連絡会を作る。
2. 名称は「日本カトリック医療連絡会」とする。
3. 構成団体は、(日本カトリック)医療施設協会、看護協会、医師会、看護大学とする。
4. 連絡会は各構成団体の自主性を尊重しつつ構成団体間の連絡強化を図ることを目的とする。
5. 連絡会は定期的に開催する。初めは年2-3回が望ましい(各団体の大会とは別な時期に)。
6. 参加者は各団体より2名以上とする。
7. 何年かに一度は合同の大会をもつ。
8. 求職・求人のプールは当面作らない。
9. 看護大学と病院の連携を強化し、病院は実習生を受け入れるよう、学校はカトリック病院への就職斡旋を強化するように努める。
10. 各地の医療施設・病院がJCNA活動に協力する。
11. 社会へ向けての発言をする。
12. 司教協議会にこの団体(医療連絡会)の活動指針について現状報告をする(担当石島)。
13. 事務局は当面作らない。連絡会の開催は持ち回りとする。
14. コメディカルへの呼びかけはしない。

・協議会規約は下記のように決定された。

また本日の会議において「日本カトリック医療団体協議会」が正式に発足した。

日本カトリック医療団体協議会規約

名 称

第1条 本会は「日本カトリック医療団体協議会」と称する。

構 成

第2条 本会は日本カトリック医療施設協会、日本カトリック医師会、および日本カトリック看護協会の3つのカトリック医療関連団体より構成される。

目 的

第3条 本会は上記3団体の自主性を尊重しつつ、3団体間の連携を強化し、相互扶助を図るとともに、カトリック精神に則った医療・福祉の向上に努め、もって日本におけるキリストの福音の普及を目指すことを目的とする。

運 営

第4条 本会は各団体より選出された2人以上の代表者により運営される。

会 議

第5条 本会は年に1回、定期的で開催される。さらに必要に応じて臨時に開催することができる。

議 長

第6条 本会に議長をおく。議長は日本カトリック医師会会長がこれに当たる。

事 業

第7条 上記の目的を達成するために、3団体に共通する問題を取り上げ、それに対する提言を行う。すなわち、

- (1) 3団体合同の全国大会を一定間隔をおいて開催する。
- (2) 3団体の合同の研修会を一定間隔をおいて開催する。
- (3) カトリックとしての医療倫理問題についての検討ならびに提言を行う。
- (4) 医療・倫理的問題に対し、カトリック医療人としての立場から公的な発言を行う。
- (5) 同じキリスト者として、日本キリスト者医科連盟との連携を密にとる。
- (6) 世界のカトリック医療関連団体との連携を密にとる。
- (7) その他、上記の目的に合致する事業を行う。

事務局

第8条 本会の事務局を日本カトリック医療施設協会会長施設に置く。

会 計

第9条 本会の運営上必要な費用は3団体からの拠出金によって賄われる。拠出金の額については別途定める。

改 正

第10条 規約の改正は、協議会において審議のうえ決定する。

付 則

本規約は平成20年9月27日より施行される。

・2009年度の合同大会について

Sr.石岡(長崎支部長)より看護協会第51回全国大会として予定している内容について説明。

会期は2009年10月23日(金)～24日(土)

- ①会期を2泊2日半で行う。金曜日の午前中から始まる。
- ②会場費用は医療施設協会が持つ。
- ③プログラム委員会を設定して、内容・会場等について詳細を検討していく。
- ④参加人数はおよそ250人前後(看護協100、施設協70、医師会50)と考えて会場を検討する。

第5回会合 2008年9月27日 ガラシア病院(大阪)

1. 日本カトリック司教協議会の公認団体申請

まず日本カトリック医療施設協会・日本カトリック医師会・日本カトリック看護協会の3団体で公認を申請し、スタートする。

2. 日本カトリック医療団体協議会規約の確認

付則 施行日を平成20年9月27日に変更する。

3. 規約第9条による拠出金について

公認団体の登録料1万円(毎年)、および通信費2万円と考え、3団体より各1万円を拠出する。出席者の旅費・交通費は各団体で負担すること。

4. 2009年度の合同大会について

・『第1回日本カトリック医療団体合同全国大会』とする。

第6回会合 2008年10月23日 聖母病院(東京)

・2009年全国大会のプログラムについて

*大会テーマ、*基調講演、特別講演、シンポジウム、2日目プログラム、講演の追加等について

第7回会合 2008年12月27日 聖母病院(東京)

1.大会テーマについて

変更の要請があり、検討した結果、「人に仕える医療」に決定した。

2.宿泊施設等について

- ・大会会場のホテルは宿泊室が10室のみのため、市内に10ヶ所のホテルを用意。
- ・ホテルの申し込みは、業者に直接、参加者個人が申し込むことにする。
- ・観光については業者を通して主に三つのコースを準備中。

3.大会申込等について

- ・大会案内文書の発行は医療施設協会事務局がおこなう。
- ・申込先は事務局の聖母病院事務局一ヶ所にする。
- ・申込用紙の配布は、医療協・医師会・看護協会がそれぞれ行なう。
- ・用紙配布は5月10日までにいき、申込締切日を9月10日とする。
- ・別途、大会開催のホームページを準備し、医師会、看護協会のホームページからもリンクできるように計る。ホームページは事務局が作成する。

4. 大会参加費・懇親会費等について

大会参加費 10,000 円・懇親会費 8,000 円 とする。

「懇親会費」は大会参加費とは別途に懇親会参加者が、各自で払い込む。

第1回 日本カトリック医療団体協議会 全国大会 プログラム

会期 2009年10月23日金曜日・10月24日土曜日

会場 長崎 全日空ホテルグラバーヒル

テーマ「人に仕える医療」

・ 10月22日 (木曜日)

- 16:00～ 医療施設協会理事会
- 16:00～ 医師会理事会
- 18:00～ 医療施設協会トップ懇談会
- 18:00～ 看護協会本部役員会

10月23日 (金曜日)

司会進行:医療施設協会 開催担当施設 聖フランシスコ病院

8:00～8:45 受付

8:45～9:00 大会オリエンテーション

聖フランシスコ病院

9:00～9:50

議長あいさつ 日本カトリック医療団体協議会 議長 石島武一
歓迎あいさつ 聖フランシスコ病院 病院長 大曲武征
開催地教区長あいさつ 長崎大司教区 大司教 高見三明

10:00～11:00 基調講演「ひとりの病理医が考えた『いのち』とは？」

元日本医学会会頭 森 亘

座長 石島武一

11:00～11:10 休憩

11:10～12:30 講演 I 「原爆被災と世界医療」

長崎医歯薬大学大学院 教授 山下俊一

座長 聖フランシスコ病院 病院長 大曲武征

12:30～13:30 昼食

13:30～17:30 シンポジウム 「終末期医療の倫理」

座長 京都大学医学部名誉教授 人見滋樹

看護師の立場 聖フランシスコ病院 看護師長 益富美津代

ソーシャルワーカーの立場 名古屋第二赤十字病院医療社会事業課長 黒木信之

医師の立場 日本カトリック医師会 会長 石島武一

法律家の立場 厚生労働省委員会委員長 上智大学法学部教授 町野朔

司祭・倫理学者の立場 長崎教区司祭 サン・スルピス神学院教授 宮川俊行

17:30～18:00 移動

18:00~18:45 大会ミサ (国宝・大浦天主堂)

18:45~19:00 移動

19:00~ 功績賞授賞式(医療施設協会)

懇親会

司会進行:医療施設協会 聖フランシスコ病院

長崎市長・長崎県看護協会会長よりあいさつをいただく。

長崎市医師会会長に乾杯の音頭を依頼する。

10月24日 (土曜日)

8:00~8:30 ミサ (国宝・大浦天主堂)

9:00~10:00 講演Ⅱ 「アジアの貧困、抑圧に苦しむ人々について」

横浜教区司祭 山口道孝

座長 愛媛労災病院院長・JCMA 副会長 篠崎文彦

10:00~10:10 休憩

10:10~12:00 座長 JCNA 名古屋支部 会員 宮本信代

実践報告① 「小さな人々と共に一普遍的兄弟愛を目指して」加藤弘美

実践報告② 「いのちへの奉仕」 JCNA 長崎支部 会員 酒井孝子

12:00~13:00 昼食 (12:10~ 医療施設協会定期総会)

13:00~14:30 講演Ⅲ 「赤ちゃんポスト:病める現代社会の中で」

慈恵病院 蓮田太二

座長 聖母会理事長 風間まさ子

14:30~ 閉会あいさつ

日本カトリック医療施設協会 会長 佐藤雅子

14:50 解散

第1回日本カトリック医療団体協議会全国大会の参加について皆様へお願い

大会の本会場となるホテルにはあいにく宿泊ができません。近くのホテルを5カ所ほど予定しておりますが、ホテルの客室をおさえる関係で参加予定の人数をあらかじめ把握する必要があります。皆様の10月の予定は未定と思いますが、「参加ご希望の方は、各支部長さまに3月末日までお知らせください。」

支部長さまは「総会への提出書類」に合わせて、会長までお知らせください。大まかな参加人数を把握したいだけです、のちに変更されてもかまいません。どうぞよろしく願いいたします。

JCNA 本部役員会報告

■第1回 2008年6月15日(日) 東京・市ヶ谷

1. JCNA の活動方針、および取り組むべき課題について

- (1) 会員数の増加対策
- (2) 「JCNA」のPR対策
- (3) 「ホームページ」の活用・内容の検討・PR
- (4) パンフレットの改定
- (5) 「日本カトリック医療連絡会」との協力体制を確立する
- (6) 経済的基盤の確立

2. 本部役員会「交通費」についての確認

全国総会議事録確認において、経緯も含めて交通費の確認をおこない、現役員は共通認識をもった。

■第2回 2008年10月18日(土) 東京・市ヶ谷

1. 2010年度 全国大会 候補地について
2. 早急に取り組むこと= 扱いやすい小振りのパンフレットの作成
3. 本部役員会「交通費」について

20万円のご寄附をいただいた。深く感謝し、そのご意向どおりに使わせていただくことにする。

■第3回 2008年12月7日(日) 東京・市ヶ谷

1. 第18回C I C I AMS世界大会が2009年3月9日から11日にメキシコで開催される。シスター沢と河野が参加予定。3月8日に開催される総会へは会長代理としてSr.沢が出席。
2. 今後のJCNA全国大会のありかたについて

・どこの支部も会員の高齢化があり、若い世代にバトンタッチするまでのあいだ、本部がリードしていく本部共催型が必要であろうと思われる。

■第4回 2009年2月1日(日) 東京・市ヶ谷

1. 2010年度第52回JCNA全国大会開催地の件
2. パンフレットについて=試作品を回覧、検討。
3. 2009年度 第53回JCNA全国総会の通知の検討
4. 井深初代会長のテレビ放映について

テレビ東京「世界を変える100人の日本人! JAPAN☆ALLSTARS」の番組の中で井深会長が紹介される。3月6日放送予定。

5. 事務局より

ゆうちょ銀行からの通知による会費振込みにおける利用の案内を、各支部へお知らせする。

第50回日本カトリック看護協会全国大会の報告

テーマ 病む人とともに生きる ～仕える喜び～

9月26日(金)～27日(土)、池長大司教さまをお迎えし、大阪府吹田市千里万博公園ホテル阪急エキスポパークで開催されました。今回のテーマは「病む人とともに生きる～仕える喜び～」で、全国の各支部、一般の方、当日のみの方と130名が参加してくださいました。

初日 講演Ⅰ 人見滋樹 先生(京都大学名誉教授)は「医療の中核を担う看護師のあり方～信徒使徒職の立場と共に考える～」というテーマで、患者さんとの接点が最も長いのは看護師であり、広い社会性、人間性、人間愛、そして信仰宣言を行なった医療人には、高い倫理性が求められ、患者の立場に立って考え、患者のために祈れる看護師であるようにと話されました。

講演Ⅱ 沼野尚美 先生(六甲病院 緩和ケア病棟チャプレン、カウンセラー)は、「生と死をみつめて共に生きる」というテーマでのお話でした。先生ご自身の体験から、ユーモアをまじえ、ときに力強く、人生の旅立ちの時は人の助けが必要であること、一人の患者さんにかかる時間の長さでなく、私たちがどのような態度で接したかということが大切。また人が自分のいのちの価値に気づくのは他者から大切にされた時です、ということなど、キリストの生き方に従い、キリストとともに生きるようにと熱く話されました。

2日目は会員発表が行なわれ、Sr.泉キリ江さま(熊本聖心病院ホスピス長・臨床パストラル部長)のテーマは「ホスピスでの学び、よろこび」と題して、毎日の職務は患者・家族中心のケアであり、その人らしい生の完成への援助であるとの理念を話されました。優しさとは相手を思う心なのですと、心にスーと入るお言葉でした。

山口支部より「養護老人ホームにおけるターミナルケアの取り組み」

東京支部より「看護に霊的支えを導入して～療養病棟入院中の患者の事例を通して」

大阪支部より「釜が崎での12年間のボランティアを振り返って」と続き、

これらの発表をいただき、私たちは働く場所が違っても同じ目的であること。病む人と共に生きる喜びを持って、いのちに寄り添うことに懸命に取り組んでいる姿を実感しました。

大会開催にあたり、多大なご尽力をいただきました、姫路聖マリア病院・箕面ガラシア病院に深く感謝し、大阪支部会員が決意表明を述べて大会を締めくくりました。(大会実行委員長 浜崎ヨウ子)

救護奉仕への御礼

時を越え今ひびく福者の祈り

11月24日に開催されました「ペトロ岐部と187殉教者列福式」に際しましては、会場での救護にご協力いただき本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

当日は、朝早くから夕方まで寒い雨の中での救護活動でしたので、その後体調を崩された方がいらっしゃるのではと心配しております。

今回、約40名の医師、130名の看護師、135名のボランティアの参加協力を得て、医療救護活動を行いました。お陰さまで大きな事故や重病者もなく無事式典を終了することができました。皆様お一人おひとりが、ご自分の貴重な時間を割き、大きな犠牲をささげて下さり、ボランティアとしてこの救護活動に快く応じてくださった賜物と感じております。感謝の気持ちを十分にお伝えできませんが、高見大司教様からもお礼のお手紙をいただいております。ご奉仕くださった皆様、本当にありがとうございました。皆様方のご健勝を祈念しながら。

列福式実行委員会救護部

シスター大山久美子